



幼保小の架け橋



架け橋期の2年間は、生涯にわたる学びや生活の基盤をつくる重要な時期です。子どもたち一人一人が未来に向かって生き生きと生活できるよう、一緒に考えていきませんか。

毎年「学校教育実施状況調査」においてお聞きしている、「**幼保小の架け橋プログラム**」の**実施**に向けての3つの取組について考えてみましょう。

その① 管理職の連絡協議会

※以下の実施率は、「R5学校教育実施状況調査」東部地区の結果です。

年度当初に、**本年度の校区の園と小学校の連携、子ども・職員同士の交流について、協議し、計画を立てましょう。**1年生の授業参観、情報交換のみでなく、**内容についても、見直してみよう。**また、校区に複数の園がある場合は、**全ての園に声をかけるなど、園同士の横のつながりをつくる**ことが大切です。**校長先生・園長先生のリーダーシップに掛かっています。**

【実施率 92.3%】

その② 合同研修会・保育体験



異動の職員、新規採用職員のみでなく、**全職員を対象としましょう。**また、園の子どもについても支援の必要な子どものみでなく、**全ての子どもの学びをつなぐ視点が必要です。**園での子どもの遊びの様子を参観し、**学びや育ちについて話し合ったり、子どもたちの実態から「めざす子ども像」について協議したり**しましょう。

【実施率 69.2%】

R5智頭小・ちづ保育園の合同研修会では、0歳児から5歳児までの公開保育、合同研修会に小学校のほぼ全職員が参加して、活発な協議がなされました。

全ての取組について**幼保小接続アドバイザー**を派遣します。是非ご活用ください。



(東部教育局ホームページ)

その③ 架け橋期のカリキュラムに係る園との協議

カリキュラムを作成する上で最も大切なことは、**対話、そしてお互いの教育・保育の相互理解**です。子ども同士の交流、合同研修会・保育体験を通して、協議したことを記していきましょう。

【実施率 80.8%】

申込受付中

第2回東部地区幼稚園教諭・保育教諭・保育士等の合同研修会
日時 7月5日(金)14時から16時30分
会場 鳥取県東部庁舎
講師 東海大学 寶来 生志子 准教授
演題 「幼保小の円滑な接続(仮題)」

園の先生から、「小学校の先生方に園の保育を知っていただき、子ども達の育ちを見てほしいという思いがあるが、学校の先生は忙しそうで、合同研修会・保育体験の実施について声をかけることがなかなかできません。」という声をよく聞きます。次の学年や学校の教育を知り、先を見通すことはもちろん大切ですが、これまでの子どもたちの育ちを知り、その育ちを生かした教育を実施することも必要です。是非、学校側から、園に積極的に声をかけてみませんか。